

ディーゴ ガイド



2026.7.13-19

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(1〜3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあげます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

116:1 私は主を愛している。【主】は私の声私の願いを聞いてくださる。
116:2 主が私に耳を傾けてくださるので私は生きているかぎり主を呼び求める。
116:3 死の綱が私を取り巻きよみの恐怖が私を襲い私は苦しみと悲しみの中にあった。
116:4 そのとき私は【主】の御名を呼び求めた。「【主】どうか私のいのちを助け出してください。」
116:5 【主】は情け深く正しい。まことに私たちの神はあわれみ深い。
116:6 【主】は浅はかな者をも守られる。私がおとしめられたとき私を救ってくださった。
116:7 私のたましいよおまえの全きいこいに戻れ。【主】がおまえに良くしてくださったのだから。
116:8 まことにあなたは私のたましいを死から私の目を涙から私の足をつまずきから救い出してくださいました。
116:9 私は生ける者の地で【主】の御前を歩みます。
116:10 私は信じています。まことに私は語ります。私は大いに苦しんでいました。
116:11 この私は恐れうろたえて言いました。「人はだれでも偽りを言う」と。
116:12 主が私に良くしてくださったすべてに對し私は【主】に何と応えたらよいでしょう。
116:13 私は救いの杯を掲げ【主】の御名を呼び求めます。
116:14 私は自分の誓いを【主】に果たします。御民すべての目の前で。
116:15 主の聖徒たちの死は【主】の目に尊い。

116:16 ああ【主】よ私はまことにあなたのしもべです。あなたのしもべあなたのはしめの子です。あなたは私のかせを解いてくださいました。

116:17 私はあなたに感謝のいけにえを献げ【主】の御名を呼び求めます。

116:18 私は自分の誓いを【主】に果たします。御民すべての目の前で。

116:19 【主】の家の大庭で。エルサレムよあなたのただ中で。ハレルヤ。

苦しみから主によって救われた人の、自然でありまた健全な心が表されています。「主を愛している。」「語ります。」「主の御前を歩みます。」「何と答えたらよいのでしょうか。」「誓いを主に果たします。」「私はあなたのしもべです。」「感謝のいけにえを献げ」など、感謝を主にささげて献身したいという思いが溢れています。

これは主の恵みをいただいた者の自然な思いでしょう。もしも主によくしていただきながら、それを当然のようにして感謝を表さないなら、その人はどこか不健全なままにいるのかもしれませんが。主への感謝を形にして、主が喜ぶようにささげましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14日 火曜

詩篇



117:1 すべての国々よ【主】をほめたたえよ。すべての国民よ主をほめ歌え。
117:2 主の恵みは私たちに大きい。【主】のまことはとこしえまで。ハレルヤ

118:1 【主】に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。
118:2 さあイスラエルよ言え。「主の恵みはとこしえまで。」
118:3 さあアロンの家よ言え。「主の恵みはとこしえまで。」
118:4 さあ【主】を恐れる者たちよ言え。「主の恵みはとこしえまで。」
118:5 苦しみのうちから私は【主】を呼び求めた。【主】は答えて私を広やかな地へ導かれた。
118:6 【主】は私の味方。私は恐れない。人は私に何ができよう。
118:7 【主】は私の味方私を助ける方。私は私を憎む者をものともしない。

主への感謝を促す賛美です。その対象は「すべての国々」、「イスラエル」、「アロンの家（祭司の家であり新約においては万人祭司）」、そして「主を恐れる者たち」というように広がって行きます。主の威光と恵はこのように、スケールの大きなものです。

ですから「私は人を恐れない。」「私を憎む者をものともしない。」という、大きな信仰を持つことができます。まさに感謝は力なのです。そのような思いで主と共に信仰の陣営を進んで行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15日 水曜

詩篇



118:8 【主】に身を避けることは人に信頼するよりも良い。
118:9 【主】に身を避けることは君主たちに信頼するよりも良い。
118:10 すべての国々が私を取り囲んだ。しかし【主】の御名によって私は彼らを断ち切る。
118:11 彼らは私を取り囲んだ。まことに私を取り囲んだ。しかし【主】の御名によって私は彼らを断ち切る。
118:12 蜂のように彼らは私を取り囲んだが茨の火のように消された。【主】の御名によって私は彼らを断ち切る。
118:13 おまえは私を激しく押し倒そうとしたが【主】が私を助けられた。
118:14 【主】は私の力またほめ歌。主は私の救いとなられた。
118:15 喜びと救いの声は正しい者の幕屋の内にある。【主】の右の手は力ある働きをする。
118:16 【主】の右の手は高く上げられ【主】の右の手は力ある働きをする。
118:17 私は死ぬことなくかえって生きて【主】のみわざを語り告げよう。
118:18 【主】は私を厳しく懲らしめられた。しかし私を死に渡されはしなかった。
118:19 義の門よ私のために開け。私はそこから入り【主】に感謝しよう。
118:20 これこそ【主】の門。正しい者たちはここから入る。
118:21 私はあなたに感謝します。あなたが私に答え私の救いとなられたからです。
118:22 家を建てる者たちが捨てた石それが要の石となった。
118:23 これは【主】がなさったこと。私たち

の目には不思議なことだ。

118:24 これは【主】が設けられた日。この日を楽しみ喜ぼう。

118:25 ああ【主】よどうか救ってください。

ああ【主】よどうか栄えさせてください。

118:26 祝福あれ【主】の御名によって来られる方に。私たちは【主】の家からあなたがたを祝福する。

118:27 【主】こそ神。主は私たちに光を与えられた。枝をもって祭りの行列を組め。祭壇の角のところまで。

118:28 あなたは私の神。私はあなたに感謝します。あなたは私の神。私はあなたをあがめます。

118:29 【主】に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。

主に助けられた人の歌です。彼は経験的に、助けになるのは人ではなく主であることを宣言しています。ここが信仰によって生きているか、この世の価値観によって生きているかの違いでしょう。クリスチャンであっても、どうしても主に信頼できずに人の顔色を伺うような生き方から抜けられない人もいます。

そしてその信仰は、イエス様の救いのみわざへの信仰の繋がってゆきます。これは旧約の預言ですからそのような順番ですが、実際は一体のものでしょう。主イエス様の十字架によって救われた者は、人の顔色よりも主の栄光に信頼を置くのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



16日 木曜

エゼキエル



25:1 次のような【主】のことばが私にあった。

25:2 「人の子よ。アンモン人に顔を向け、彼らに預言せよ。

25:3 あなたはアンモン人に言え。『【神】である主のことばを聞け。【神】である主はこう言われる。わたしの聖所が冒されたとき、イスラエルの地が荒れ果てたとき、ユダの家が捕囚となって行ったとき、おまえは、あはは、と言って嘲った。

25:4 それゆえ、わたしはおまえを東の人々に渡して、彼らの所有とする。彼らはおまえのうちに宿営を張り、おまえのうちに住まいをつくり、おまえの産物を食べ、おまえの乳を飲むようになる。

25:5 わたしがラバをらくだの牧場とし、アンモン人の地を羊の檻とするとき、おまえたちは、わたしが【主】であることを知る。

25:6 まことに、【神】である主はこう言われる。おまえは手を打ち、足を踏み鳴らし、イスラエルの地を心の底から嘲り、喜んだ。

25:7 それゆえ、わたしはおまえに手を伸ばし、おまえを異邦の民に略奪の対象として与える。わたしは、おまえを諸国の民から断ち切り、国々の間から滅ぼし、根絶やしにする。そのときおまえは、わたしが【主】であることを知る。』」

25:8 【神】である主はこう言われる。「モアブとセイルは『見よ、ユダの家は異邦の民と変わらない』と言った。

25:9 それゆえ、わたしはモアブの山地の町々、その国の營れであるベテ・ハ・エシモテ、バル・メオン、キルヤタイムの町々をことごとく

とく開け放ち、

25:10 アンモン人と一緒に東の人々に渡してその所有とし、国々の間でアンモン人が記憶されないようにする。

25:11 わたしがモアブにさばきを下すとき、彼らは、わたしが【主】であることを知る。」

神様はイスラエルをさばかれましたが、イスラエルを全く愛さないのではありません。彼らを苦しめた民族をことごとくさばくと宣言なさいます。

このように神様は信仰者にとっても、ときには恐い聖なるお方ではありますが、その愛は変わることがありません。厳しさを感じる時も主を信頼し続けましょう。

ここではアンモン人へのさばきが明言されています。「あははと、言って嘲った。」というのが特徴的です。それは具体的な攻撃というよりも、その心にあるものが、主によって告発されているということです。まさに主は心を見る方であることが分かります。またこれはイスラエルの恥を主は見過ごしにされないということでもあります。

それはまさに私たちへの約束でもあります。具体的な攻撃だけでなく、主は私たちの尊厳を守ってくださいます。またそれは実際の守りにもつながってくるものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



17日 金曜

エゼキエル



25:12 【神】である主はこう言われる。
「エドムはユダの家に復讐を企て、復讐を果たして、咎ある者となった。
25:13 それゆえ——【神】である主はこう言われる——わたしはエドムに手を伸ばし、そこから人も家畜も断って、そこを廃墟にする。テマンからデダンに至るまで人々は剣で倒れる。
25:14 わたしは、わたしの民イスラエルの手によってエドムに復讐する。わたしの怒りと憤りのままに彼らがエドムに事を行うとき、エドムはわたしが復讐するということを知る——【神】である主のことば。」
25:15 【神】である主はこう言われる。「ペリシテ人は復讐を企て、心の底から嘲ってひどい復讐をし、いつまでも敵意をもって滅ぼそうとした。
25:16 それゆえ——【神】である主はこう言われる——見よ。わたしはペリシテ人に手を伸ばし、クレタ人を断ち切り、海辺の残った者を滅ぼす。
25:17 わたしは激しい憤りで彼らを懲らしめ、彼らに大いなる復讐をする。わたしが彼らに復讐するとき、彼らは、わたしが【主】であることを知る。」

イスラエルの敵に対する主のさばきがさらに明言されています。エドム人、ペリシテ人、クレタ人への復讐について書かれています。彼らは「復讐」の名のもとに、イスラエルに対して「いつまでも敵意を持って滅ぼそうと」しました。それは仕返し以上のものであり、そもそもイスラエルは平和裏に彼らと共存するつもりでありましたが、例えばエドム人などは通過さえ許さずに戦おうとしたのです。結

局主はその報いを彼らに与える結果となりました。このように主はご自身の民を、その不従順のゆえに懲らしめるのですが、しかしいつまでも苦しめるのではなく、その敵をさばき最後には勝利を与えてくださるのです。主に信頼し、主に頼りましょう。主のなされることは最善であり、その知恵は計り知れない大きさであり、権威を持ったお方です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18日 土曜

エゼキエル



26:1 第十一年の、その月の一日、私に次のような【主】のことばがあった。
26:2 「人の子よ。ツロはエルサレムについて、『あはは。国々の民の門は壊され、私に明け渡された。私は豊かになり、エルサレムは廃墟となった』と言った。
26:3 それゆえ——【神】である主はこう言われる——ツロよ、わたしはおまえを敵とする。海が波をうねらせるように、多くの国々をおまえに向けて攻め上らせる。
26:4 彼らはツロの城壁を荒らし、そのやぐらを壊す。わたしはそのちりを払い去って、そこを裸岩にする。
26:5 ツロは海の中の網干し場となる。わたしが語ったからだ。——【神】である主のことば——ツロは諸国の餌食となり、
26:6 それに属する沿岸側の町々も剣で滅ぼされる。そのとき彼らは、わたしが【主】であることを知る。」
26:7 まことに、【神】である主はこう言われる。「見よ。わたしは、王の王、バビロンの王ネブカドネツアルを、馬、戦車、騎兵、そして大軍勢とともに、北からツロに連れて来る。
26:8 彼はその沿岸側の町々を剣で滅ぼし、おまえに向かって壘を築き、城壁崩しを設け、大盾を立て、
26:9 破城槌でおまえの城壁を突き崩し、やぐらを斧で打ち壊す。
26:10 彼の馬の数があまりにも多いため、その土煙がおまえをおおう。打ち破られた町に入る者のように、彼がおまえの城門に入るとき、騎兵と車両と戦車の響きに、おまえの城

壁は揺れ動く。
26:11 彼は、馬のひづめでおまえの大通りをすべて踏みにじり、剣でおまえの民を殺し、おまえの巨大な石柱も地に倒れる。
26:12 彼らはおまえの財宝を略奪し、商品をかすめ奪い、城壁を破壊し、住み心地のよい家を打ち壊し、石や木や土までも、水の中に投げ込む。
26:13 わたしはおまえの騒がしい歌をやめさせる。おまえの堅琴の音も、もう聞かれない。
26:14 わたしはおまえを裸岩とする。おまえは網干し場となり、二度と建て直されない。
【主】であるわたしが語ったからだ。——【神】である主のことば。」
26:15 【神】である主はツロにこう言われる。「刺された者がうめき、おまえの中で虐殺が行われるとき、おまえが崩れ落ちるその響きに、島々は揺れ動かないだろうか。
26:16 海の君主たちはみな、その王座から降り、上着を脱ぎ捨て、あや織りの衣服を脱ぐ。彼らは戦慄を身にまとって地面に座り、おまえのことで絶えず身震いし、?然とする。
26:17 彼らはおまえについて哀歌を唱えて言う。海に住む者よ、おまえはどうして海から消え失せたのか。その町と住民は海で最も強く、ほめそやされた町であったのに。その町の住民すべてに、恐怖がもたらされた。
26:18 今、島々はおまえが崩れ落ちる日に身震いし、海の島々はおまえの退却を見てうろたえる。」
26:19 まことに、【神】である主はこう言われる。「わたしがおまえを廃墟の町とし、住む者のない町々のようにするとき、大水

をおまえの上に湧き上がらせ、豊かな水がおまえをおおうとき、
26:20 わたしはおまえを、穴に下った者たちとともに昔の民のもとに下らせ、穴に下った者たちとともに、昔から廃墟であったような地下の国に住まわせる。わたしが誉れを与える生ける者の地に、おまえが住めないようにするため。
26:21 わたしはおまえを恐怖のもととする。おまえはもう存在しなくなり、人がおまえを尋ねても、永久におまえを見つけないことではない——【神】である主のことば。

ツロやバビロンに対しても、主はその無慈悲な行いを裁かれます。イスラエルがさばかれるために、主に用いられたとしても、主の前に悪は悪なのです。

私たちも主に用いられることは感謝です。ただし結果的に悪や不信仰でも用いられましたというのではなく、正しい歩みをしつつ主に用いられましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



27:1 次のような【主】のことばが私にあった。
27:2 「人の子よ、ツロについて哀歌を唱えよ。
27:3 あなたはツロに言え。『海の出入り口に
住み、多くの島々の民と取り引きをする者よ、
【神】である主はこう言われる。ツロよ、お
まえは、「私は美の極みだ」と言った。
27:4 おまえの領土は海の真ん中にあり、おま
えを築いた者は、おまえを最高に美しく仕上
げた。
27:5 彼らはセニルのもみの木でおまえのすべ
ての船板を作り、レバノンの杉を使って、お
まえの帆柱を作った。
27:6 バシヤンの樅の木でおまえの櫂を作り、
キティムの島々の檜に象牙をはめ込んで、お
まえの甲板を作った。
27:7 エジプトのあや織りの亜麻布が、おまえ
の帆であり、おまえの旗じるしであった。エ
リシャの島々からの青色と紫色の布が、おま
えの覆いであった。
27:8 シドンとアルワデの住民が、おまえの漕
ぎ手であった。ツロよ、おまえのうちの熟練
者が、おまえの船員であった。
27:9 ゲバルの長老と、その熟練者が、おまえ
のうちにあって破損を修理し、海のすべての
船とその水夫たちが、おまえのうちにあって
おまえに商品を持ち込んだ。
27:10 ペルシア、ルデ、ブテの人々は、おま
えの軍隊の戦士であり、おまえに盾とかぶと
を掛け、彼らはおまえに輝きを添えた。
27:11 アルワデとヘレクの人々はおまえの周
りの城壁の上に、またガマデ人はおまえのや
ぐらの中にいて、周りの城壁に丸い小盾を掛

け、おまえを最高に美しく仕上げた。
27:12 タルシシュは、おまえがあらゆる財宝
に富んでいたのも、おまえと商いをし、銀、
鉄、すず、鉛をおまえの商品と交換した。
27:13 ヤワン、トバル、メシェクはおまえと
取り引きをし、人間と青銅の器具をおまえ
の商品と交換した。
27:14 ベテ・トガルマは馬、軍馬、らばをお
まえの商品と交換した。
27:15 デダン人はおまえと取り引きをし、多
くの島々はおまえの支配する市場であり、
彼らは象牙と黒檀をおまえに貢ぎとして
持ってきた。
27:16 アラムは、おまえの事業が多岐にわ
たったので、おまえと商いをし、トルコ石、
紫色の布、あや織物、白亜麻布、珊瑚、紅
玉をおまえの商品と交換した。
27:17 ユダとイスラエルの地もおまえと取り
引きをし、ミニテの小麦、きび、蜜、香油、
乳香をおまえの商品と交換した。
27:18 おまえの事業が多岐にわたり、あらゆ
る財宝に富んでいたのも、ダマスコも、ヘ
ルボンのぶどう酒とツァハルの羊毛でおま
えと商いをした。
27:19 ダンとヤワンもおまえの商品と交換し
た。その商品の中にはウザルからの銑鉄、
桂枝、菖蒲があった。
27:20 デダンは鞍に敷く織り布でおまえと取
り引きをした。
27:21 アラビア人、ケダルの君主たちもみな、
おまえの御用商人であり、子羊、雄羊、や
ぎで商いをした。
27:22 シェバとラアマの商人たちはおまえと
取り引きをし、あらゆる上等の香料、宝石、
また金をおまえの商品と交換した。

27:23 ハラン、カンネ、エデン、それに
シェバの商人たち、アッシュルとキルマ
デはおまえと取り引きをした。
27:24 おまえの市場で、彼らは豪華な衣
服、青色の衣、あや織物、固く撚った綱
でしっかり留められた多彩な敷き物をも
って、おまえと取り引きをした。
27:25 タルシシュ船がおまえの商品を運
んだ。おまえは大海のただ中で満ちあふ
れて、大いに栄えた。

ツロは栄華を極めた時代がありました。そ
のツロも主の前に悪を行うなら、簡単に滅び
てしまいます。当時は誰もがその栄華はいつ
までも続くと思ったことでしょう。
しかし永遠は主であり、主の前にはすべて
が桶の一滴のようなものです。主によって滅
ぼされ、また主によって助けられるのです。
師に信頼して主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願い
など）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

